

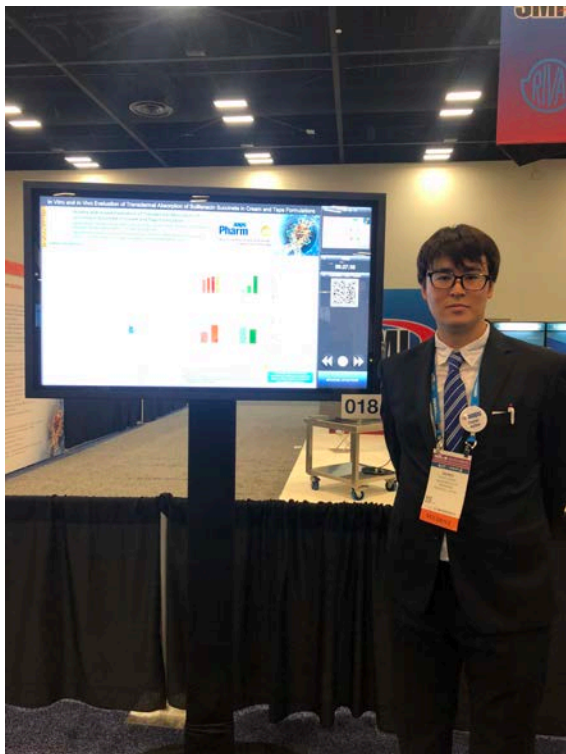
AAPS2019にてポスター発表

2019年11月3日から6日にアメリカのサン・アントニオで開催された American Association of Pharmaceutical Scientists 2019 Pharmsci 360 に参加しました。本学会は全世界から薬剤学を中心とし、多岐にわたる分野の研究者が集まり、最新の知見について発表および議論がなされていました。また、企業ブースも多数出展されており、実験装置についても最新の話題を提供していただきました。

私は「In vitro and In vivo Evaluation of Transdermal Absorption of Solifenacin Succinate in Cream and Tape Formulations (ソリフェナシンコハク酸塩含有クリームおよびテープ製剤の In vitro および In vivo における経皮吸収性の評価)」という発表題目でポスター発表を行いました。本研究では、近年、増加している過活動膀胱の患者に対する服薬アドヒアランス向上を目的に、内服薬しか市販されていない過活動膀胱治療薬に対しクリームおよびテープ製剤の製剤設計および製剤評価をしました。

学会ではポスターに多くの方が興味を持っていただき、研究者とそれぞれの研究分野に関する議論および質疑応答ができました。また、質疑応答の中で自分の英語スキルが足りていない部分が多くあることも痛感し、英語力の向上に対してさらに精進していきたいと思いました。

本学会参加への支援を頂けたことに感謝するとともに、今後もより一層研究に邁進して参りたいと思います。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程2年
実践薬学講座 岡田 弦記